



2016年10月3日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
(コード9419：東証第一部)

住 所 東京都品川区東品川2-2-20
天王洲郵船ビル5階

代表者 代表取締役CEO 池田 武弘

問合せ 取締役CIO

執行役員IR本部長 須永 直樹

(TEL. 03-6433-2045)

新たな事業の開始に関するお知らせ ～産業用IoTプラットフォーム事業への本格参入～

当社は、平成28年10月3日開催の取締役会において、下記のとおり新たな事業の開始を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は、平成16年1月の設立以来、Wi-Fi・WiMAX・LTEと異なる通信技術を組み合わせ、ワンストップの通信サービスにすることで利便性を高め、アグリゲーター（統合無線通信事業者）としてワイヤレス・ブロードバンドサービスを一般消費者向けに提供してまいりました。

一方で、将来に亘り大きな成長が見込まれる通信分野はIoT市場と考えられており、総務省の平成27年度の情報通信白書（注1）に記載されております内容によるとIDCは、2014年に約6,500億ドルだった世界のIoT市場規模が、2020年に1.7兆ドルになると予測されております。

IoTは、情報の収集・蓄積・解析、反映・応用のあらゆる面において革新をもたらすことから、ビッグデータの活用を具現化するとともに、各産業のビジネスや産業構造そのものを大きく変革する可能性を秘めております。また、ビジネスに留まらず社会分野等の幅広い分野での活用の可能性も期待されており、工場の生産性の向上から、社会インフラの効率的な管理など、あらゆる産業や分野が今後IoTを取り込んでいくことが予想されております。

このような市場環境から当社もIoTに関しては、異なる通信技術を組み合わせるサービスの展開を図りつつ、兼ねてより検討を重ねておりました平成27年10月15日公表の「米国nCore Communications, Inc.への出資に関するお知らせ」（注2）に記載しておりますLTE over WiFi技術（注3）の活用に関して、IoT向け高速通信サービスの事業化への目途が立ったことから、この度新規事業の開始を決議しております。

※IoT:「Internet of Things」モノのインターネット化 コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続させ相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと

(注1) 平成27年版 情報通信白書 <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc254120.html>

(注2) 東京証券取引所のTDnet(適時開示情報伝達システム)を通じて、PR情報として公表しております。内容につきましては、当社ホームページをご覧ください。

(注3) 「LTE over WiFi」は、Wi-FiのアクセスポイントをLTE基地局のように動作させることで、LTEネットワークが持つ様々な機能をWi-Fi上で実現する技術です。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

当社はこれまでWi-Fi・WiMAX・LTEと異なる通信技術を組み合わせ、ワンストップの通信サービスにすることで利便性を高め、アグリゲーター(統合無線通信事業者)としてワイヤレス・ブロードバンドサービスをデータヘビーな一般消費者向けに提供してまいりました。

そして、IoTがこれから本格的な普及期を迎えるにあたり、多くの機器を通信で結ぶことが必要とされています。低容量データ通信を対象としたIoTプラットフォームは構築されつつありますが、メインストリームと考えられる産業用のIoT通信に求められる要件について当社は、高速かつ大容量で高セキュリティが必要になると考えております。

一方で、主に産業に求められる大容量のデータ通信かつセキュリティを確保したIoTプラットフォームについては明確な技術的解決およびプラットフォームの登場は未だなされておられません。そこに市場参入の余地があると判断し、当社は、高速かつ大容量で高セキュリティが必要となる産業用IoTプラットフォームの構築を行うべく、当社が兼ねてより着目しておりましたLTE over WiFiの技術を活用したIoT向け高速通信サービスを新たな事業として開始することといたしました。

なお、当該新規事業の開始にあたり、当社単体で事業展開を行うのではなく、戦略的かつ速やかな事業展開を行うべくモバイル・インターネットキャピタル株式会社(以下、MIC)と共同で、株式会社LTE-Xを設立いたしました。

また、コアテクノロジーについては、LTE トネリング技術(LTE over X)(米国 nCore Communications 社技術の国内独占ライセンス利用)を使用し、高速かつ大容量で高セキュリティが必要となるデータを扱う産業用IoTプラットフォームを事業として展開いたします。

主なターゲット市場は、工場/病院/セキュリティ市場などを考えており、2016年度中にシステムの完成を予定し、2017年初頭を目途に商用サービスの開始を予定しております。

(2) 当該事業を担当する部門

子会社(合弁会社)である株式会社LTE-X

3. 当該事業の開始のために支出する金額及び内容

子会社(合弁会社)への出資金2,000千円(当社1,020千円51.0%、MIC980千円49.0%)

※事業推進や財務基盤強化等を目的として、2.5億円程度まで今後段階的に追加出資(出資比率:当社51.0%、MIC49.0%)を行う予定であります。

・子会社（合弁会社）の概要

(1) 名称	株式会社L T E - X
(2) 所在地	東京都品川区東品川二丁目2番20号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役CEO 池田 武弘
(4) 事業の内容	セキュアで高速・大容量なIoTプラットフォームの提供
(5) 資本金 (平成28年10月3日現在)	1,000千円(出資金2,000千円の2分の1を資本金へ組入) ※事業推進や財務基盤強化等を目的として、2.5億円程度まで今後段階的に追加出資(出資比率:当社51.0%、MIC49.0%)を行う予定であります。
(6) 設立年月日	2016年9月20日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ワイヤレスゲート 51.0% モバイル・インターネットキャピタル株式会社 49.0%

・合弁相手先の概要

(1) 名称	モバイル・インターネットキャピタル株式会社	
(2) 所在地	東京都港区赤坂一丁目11番28号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 山中 卓	
(4) 事業の内容	ベンチャーキャピタル業	
(5) 資本金	100,000千円	
(6) 設立年月日	1999年11月11日	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社N T T ドコモ	30.0%
	株式会社インターネット総合研究所	30.0%
	みずほ証券株式会社	30.0%
	M I C 役職員持株投資事業組合	10.0%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

4. 日程

取締役会決議	平成28年10月3日
事業開始日	平成28年10月3日
商用サービス開始日	平成29年4月1日(予定)

5. 今後の見通し

本件による当社グループの平成28年12月期の連結業績に与える影響は、現時点では軽微であります。将来に亘って企業価値の向上を実現する事業であると考えております。なお、業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに適時開示にてお知らせいたします。

(参考) 当期連結業績予想 (平成 28 年 2 月 12 日公表分) 及び前期連結実績

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に帰属す る当期純利益
当期連結業績予想 (平成 28 年 12 月期)	12,832 百万円	1,250 百万円	1,067 百万円	660 百万円
前期連結実績 (平成 27 年 12 月期)	11,311 百万円	1,065 百万円	1,062 百万円	684 百万円

以 上